

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第60回：2020年5月24日（日）

○ゲスト：ガールスカウト青森県第9団
リーダー 菊地 陽子（ゆきこ）さん



写真：菊地さん

○ 放送内容

今回の放送では、ガールスカウト青森県第9団のリーダーとして活動をしている、菊地陽子さんをゲストにお招きしました。菊地さんはこの日、ガールスカウトの目的、活動内容、活動の楽しさをお話してくださいました。

◆ 世界中に広がる活動の輪！

ガールスカウトの活動は150の国と地域で行われており、会員は約1千万人います。日本での活動は今年100周年を迎え、菊地さんが所属している青森県第9団は、年長から高校生までのスカウト22名、リーダー11名など合計60名が所属し、50年前から弘前市を中心に活動を展開しています。「考える力、行動する勇氣、支えてくれる仲間を得て成長すること」を目的とした社会教育団体として、お泊り会・キャンプ・クリスマス会・日米交流会・募金活動など素敵な未来の自分を目指して、さまざまな活動をしています。

◆ 生きる力を身につけよう！

菊地さんは、スカウトたちからやりたいことを聞いて、活動の企画や運営するリーダーとして、スカウトたちの育成に取り組んでいます。リーダーの中には理科の先生や看護師などがいて、それぞれ自分の得意分野を活かし、力をあわせて活動を盛り上げています。音楽が好きな菊地さんは、歌の練習を担当されているそうです。

いつも、子どもたちには「自分のことは、自分でできるように！」と指導しています。キャンプでは、低学年の子が上の子からマッチの使い方を教えてもらい、火おこしができるようになる、お泊り会の準備では、親に手伝ってもらわなくても一人で荷造りできるようになるなど、スカウトでの活動によりできることを増やし、楽しみながら経験と自信が身に付きます。

◆ 「考えてみる」「やってみる」を大切に！

「さくらまつり時期に行っている日米交流会は、米軍三沢基地内ガールスカウトとの交流で、ホームステイの受け入れや交流会を通して日本文化の紹介や友情を深めるなど貴重な経験ができます。子どもたちに興味を持ったことはどんどんチャレンジしてもらい、『やった！』や『できた！』の瞬間を共有できることが嬉しく、やりがいがあります。みなさん、興味があったらぜひ活動を見学しにきてください。」とお話してくださいました。